

2019年7月25日

福島県教育委員会
教育長 鈴木淳一 様

福島県立高等学校教職員組合
執行委員長 小林みゆき



人事異動希望調書から異動希望校欄を削除しないことを求める要求書

「2019年度末の人事異動希望調書から異動希望校欄を外す」、「希望欄には地区のみ記入し、備考欄に希望校を書いてもかまわないことにする」ことを検討しているという情報がありました。

今までも、公務に働くものとして希望が通らない場合も甘んじて異動を受け容れてきたところです。最近の人事では、家族介護や子育てに配慮しない人事、進学校間の振り子人事などが横行しています。人事異動は教育効果と密接な関係があります。教員のモチベーションは重要な要素です。また、教職員が様々な校種を経験して豊かなキャリアを形成していくことも、結果的に教育効果につながります。

県立高教組は、以下の観点から、人事異動希望調書から希望校欄を外さないことを求めます。

- (1) 人事異動は通勤時間、単身赴任、子育て環境の変化など、労働条件の大きな変更を伴うので、そのやり方の変更は一方向的に進めないで組合との交渉で行うべきだが、そのような手続きを経ていないのは全く不当であること。
- (2) 今回の変更は、単なる調書の様式変更にとどまらず、県教委が教職員の「異動希望」を無視し、有無を言わず異動させることにつながり、教職員の生活と人権に配慮しない人事異動となる恐れがあること。また教職員のモチベーションを低下させる恐れがあること。
- (3) 今までの「希望校を十分に考慮した人事異動の線を引き」ことに対して、継続を求める声が多いこと。
- (4) 生徒への教育条件にもかかわること。

○要求項目

- 1 人事異動は労働条件の大きな変更を伴い、生徒の教育条件にもかかわるので、そのやり方の変更は一方向的に進めないで組合との交渉に応ずること。
- 2 人事異動希望調書の作成に当たっては、異動希望校の欄をなくさないこと。